

表題	アルミ急速溶解炉による	番号
	省エネ化【ジェットメルター】	炉技-10
CO ₂ 削減効果	63t/アルミt (アルミ2000kg/h溶解炉の場合)	
	従来比 34% 削減	

1) 改善内容

アルミ溶解炉に於いて、溶解材料を上部より投入し、タワー内で熱交換する事で従来炉より燃料原単位を向上し省エネルギー化を計る。

具体例：

【従来炉】

反射型溶解炉で溶解材料の予熱は十分行う事が出来ない。

平均燃料原単位 90万kcal/t=84m³/t

都市ガス(13A)のCO₂排出量

$$84\text{m}^3 \times 2.234 = 188\text{t/アルミt}$$

【急速溶解炉】

溶解室及び上部タワー内で溶解材料の予熱を行う。

平均燃料原単位 60万kcal/t(連続溶解時)=56m³/t

LNG(13A)のCO₂排出量

$$56\text{m}^3 \times 2.234 = 125\text{t/アルミt}$$

※ 都市ガス(13A)の理論燃焼生成ガス量 CO₂ 2.234t/m³

2) CO₂削減予測効果：34%

製品紹介 ジェットメルター

排気ガスから排熱を回収、高いエネルギー効率を達成する設備であり、省エネ、省力、省スペースを実現します。



【問い合わせ先】
日本ルツボ株式会社